

ASR料金・エアバッグ類料金・フロン類料金の平均単価の算出方法について

1. 再資源化等預託金の平均単価の推計

自動車の種類を、普通乗用車・小型乗用車・軽乗用車・普通貨物車・小型貨物車・軽貨物車・普通バス・小型バスの8車種に区分した上で、それぞれ以下のとおり算出。

(1) ASR料金平均単価

保有自動車データから車種別の平均車重を推計し、各メーカーが発表した料金と平均車重の関係を踏まえて車種別に算出。

(注)平成17年1月以降の自動車については、保有自動車データではなく直近の製造自動車データを用いて算出。

(2) エアバッグ類装備車のエアバッグ類料金平均単価

各メーカーが発表した装備個数別の料金を基に、メーカー毎の装備個数別平均単価を算出。当該平均単価並びに各初度登録年度におけるメーカーシェア及び平均装着個数を用いて、車種・車齢別に算出。

(3) エアコン装備車のフロン類料金平均単価

各メーカーが発表した料金を基に、メーカー毎の平均単価を算出。当該平均単価及び各初度登録年度におけるメーカーシェアを用いて、車種・車齢別に算出。

2. 預託金預り対象台数、預託金払渡し対象台数等の平均単価について

預託金預り収入や預託金払渡し支出の対象車両の平均単価については、それぞれの対象車両の車種・車齢を勘案して算出。

そのため、以下の要因により、それぞれの平均単価が異なるケースが発生する。

ASR料金	①年度別の車種別シェアの違い ②平成17年1月以降に販売された自動車の比率
エアバッグ類料金	①年度別の車種別シェアの違い ②年度別のメーカーシェアの違い ③年度別エアバッグ装備個数の違い
フロン類料金	①年度別の車種別シェアの違い ②年度別メーカーシェアの違い